

タカネバラ

Rosa nipponensis Crépín

バラ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地は極めて限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

落葉低木で、高さ1～1.5m。よく分枝し、しばしば細いまっすぐな開出する刺を密生する。葉は奇数羽状複葉で、7～9個の小葉からなる。花は小枝の先に単生し、径3.5～4cm、5弁で淡紅紫色。果実は紡錘形、長さ1.5～2cmで、先端に萼片を宿存する。

国内分布

本州(東北～中部地方)、四国(剣山・東赤石山ほか)。

県内分布

白山高地区。

生態など

花期は6～7月。果実は8～9月に黄赤色に熟す。

生育環境

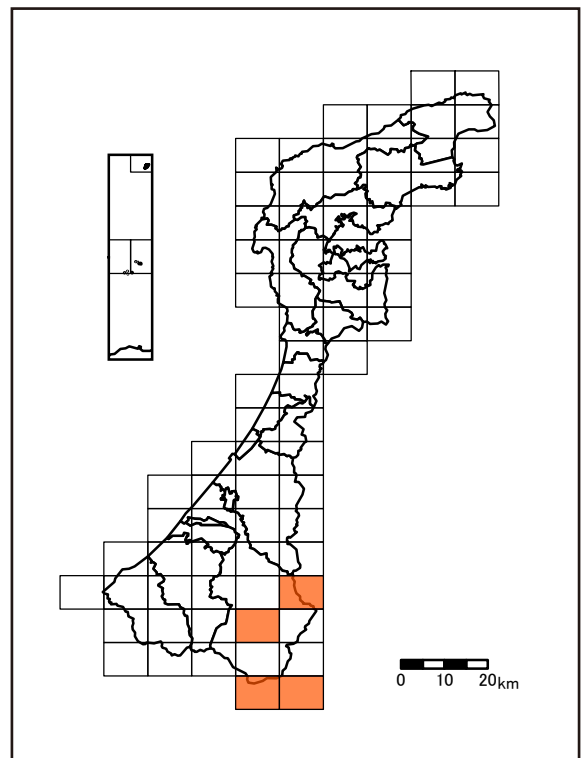
亜高山帯～高山帯の岩礫地。

危険要因

踏みつけ、自然遷移、産地局限。



白井伸和・2000年7月23日



県内の分布